

# 数学

## <全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

### 解答形式

全問記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

誘導が多い出題形式なので、うまくその誘導に乗ることが大切である。

### その他トピックス

近年、場合の数・確率が毎年出題されていたが今年は出題されなかった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	整数 式と証明	数学A 数学II	方程式の自然数解に関する問題。 不等式を作り、必要条件から候補を絞ることがポイントである。	標準
2	空間ベクトル 分数関数と無理関数	数学B 数学III	空間内の経路の勾配と最短経路に関する問題。 誘導形式ではなく、各小問が独立した問題であった。(2)の最短経路の長さは展開図を用いるなど工夫すると求めやすい。	やや易
3	積分法	数学III	置換積分による定積分の計算の問題。うまく置き換えることがポイントとなる。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

発想力・論証力が要求される問題が多く、例年計算量も多いので、基礎を固めたら過去問などを用いて答案作成の訓練をしておくこと。大問の完答は困難な場合もあるが、誘導として出題されている小問は基本問題ばかりなので、それらを確実に解くことが合格の必要条件である。頻出分野である場合の数・確率・整数・空間図形・微分・積分は特に学習しておくことよい。2025年度から出題範囲が新課程に基づく範囲となるが、整数問題はこれまでと同様に他分野との融合問題として出題される可能性が高いので対策しておくこと。